

市民活動・ボランティアを始めた人にも…

# 市民活動・ボランティア ニュース



2009年

2月号

平成21年1月25日発行  
通巻122号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

## ◆発行◆

514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail sei knpo@pref.mie.jp  
男女共同参画・NPO室の  
ホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります!

## 【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティア  
センター/津市市民活動センター/  
分部食堂 / (有)デザインオフィス萩  
野 ●桑名市●桑名市市民活動支  
援センター ●いなべ市●いなべ  
市市民活動センター ●四日市市  
●四日市市民活動センター/寺  
子屋プロジェクト/みえチャレンジ  
プラザ ●亀山市●亀山市市民協  
働センター ●鈴鹿市●市民ネット  
ワークすずかのぶどう ●松阪市●  
三重中京大学/松阪市市民活動セ  
ンター ●伊勢市●特定非営利活  
動法人伊勢志摩NPOネットワークの  
会/いせ市民活動センター ●鳥  
羽市●鳥羽NPOネットワークセン  
ター・結 ●名張市●名張市立図書  
館/名張青年会議所/皇学館大学  
名張キャンパス/名張市総合福祉セ  
ンター/エコリゾート赤目の森/名  
張市市民活動支援センター/くらし  
の情報センター同夢 ●伊賀市●  
ウィリアム・テルズアップル まちづ  
くりセンター/伊賀市中央公民館/  
伊賀市立図書館/上野青年会議所  
/伊賀市市民活動支援センター  
●明和町●めいわ市民活動サポ  
ートセンター ●南伊勢町●南伊勢町  
町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町  
ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市  
町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店  
/三重銀行各店/東海労働金庫各  
店/第三銀行各店/メディカルー光  
各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール  
/三重県地域機関(各県民セ  
ンター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、  
松阪、南勢志摩、伊賀、尾鷲・熊野) /  
三重県栄町庁舎(情報公開窓口) /  
三重県総合医療センター/三重県立  
一志病院/三重県立志摩病院/三  
重県立こころの医療センター/斎宮  
歴史博物館/三重県立博物館/三  
重県立図書館/三重県生涯学習サ  
ポートセンター/三重県男女共同参画セン  
ター『フレンドみえ』/三重県人権  
センター/三重県身体障害者総合福  
祉センター/三重県環境学習情報セ  
ンター/各市町役場

## 市民活動団体との協働で推進するこころの健康づくり

～こころの健康センター～

県民の皆さまのこころの健康をまもる専門機関として、こころの健康づくり、精神障がい者の社会参加、適切な精神医療の推進に関する事業を行っています。

### ☆ 薬物相談ネットワーク

薬物依存症の問題で困っている家族、関係者が薬物依存症について、正しい知識を持ち、回復につながる対応を学び、孤立した状態から解放されるとともに、薬物依存症者自身の回復を動機づけることを目的に次の事業をおこなっています。

- (1) 薬物相談事業(来所・電話相談)
- (2) 家族教室(6回シリーズ、年12回実施)
- (3) 研修会(薬物フォーラム・嗜癖(しへき)問題対策研修)

薬物依存者の回復支援には多くの経験に基づく対応力や社会資源との密なつながりをもった援助や実践が必要であるため、NPO法人三重ダルクとの協働で行っています。

### ☆ ひきこもりなどの若者の自立支援

近年、ひきこもりや不登校、対人関係上の悩みなどのこころの問題が社会的な関心を集めています。「ひきこもり」の背景は様々であることから、誰もがなる可能性があるといえます。当センターでは平成16年7月から専門相談窓口を設置し、当事者、家族が孤立せず、相談体制を継続し、社会復帰を行うための適切な支援体制を整備すること、また関係機関との連携を図ることを目的に次の事業をおこなっています。

- (1) ひきこもり・思春期相談(来所・電話・東紀州出張相談)
- (2) 家族教室(5回シリーズ、年10回実施)
- (3) 関係機関との連携・サポートネットワークづくりへの参画
- (4) 研修会

特に「みえ若者就労支援ネットワーク」は多様な主体が連携し、地域全体で包括的に支援するしくみづくりを目的に活動するネットワークです。月1回程度開催され、現在はNPO、学識経験者、行政等の24団体が参加しています。

### ☆ 自殺防止の取り組み

全国の自殺者数は3万人を超え、交通事故死者数の5倍の人が自ら命を絶っています。平成19年の三重県の自殺者数は厚生労働省の統計で368人でした。

そこで、啓発活動・三重県自殺予防対策推進協議会の開催・リスナー(傾聴できる人)の養成等を進めています。9月の自殺予防週間には街頭啓発やシンポジウムを開催しています。

また、昨年3月からNPO法人三重いのちの電話協会、熊野自殺防止センターと協力しながら、「自死遺族の集い」を始めました。

### ● 問い合わせ先

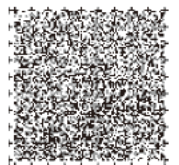
三重県こころの健康センター

514-8567 津市桜橋3-446-34 三重県津庁舎保健所棟二階

精神保健福祉相談 Tel.059-223-5245(平日13:00~16:00)

### SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。

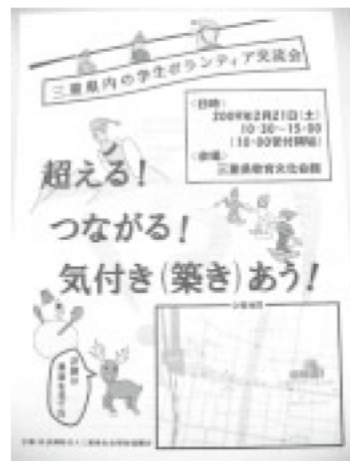


情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

2月21日(土)に三重県内の学生ボランティア交流会「越える!つながる!気付き(築き)あう!」を開催します。(詳細は「イベントスケジュール」でお知らせしています)

これまで三重県ボランティアセンターでは県内の大学・専門学校等の教職員の方々と、学生のボランティア活動支援についての情報交換会を実施してきました。昨年度から、学生の皆さんを主として開催しており、今年度は企画から一緒に行っています。これは、学生の皆さんから「学校の枠を超えてネットワークをもちたいんだよなあ」という声を多くもらったからです。それならば一緒にやってみよう!ということで、今回は私も含めて、学生の企画メンバー全員がチラシの案を持ち寄り、タイトルはその想いをストレートに伝えて、まだまだ学生にとってもこの時期の楽しみとなっている(らしいのです!)ゲレンデの様子を背景にもってくることにしました。

チラシにしても内容にしても、学生の皆さんと話していると、想いがある状態っていうのはアイデアの宝庫なのだなあと実感します。この想い、皆さんも一緒に聞いてみませんか?



## みなさんへのお知らせ

### 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

#### ●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地  
 【1】(1)悠遊くかん木海香の里(2)岡村哲雄(3)北牟婁郡紀北町海山区相賀265番地4  
 【2】(1)さらい(2)中村千代子(3)桑名市星川785サンシティ1F  
 【3】(1)里づくり協議会(2)木崎美美(3)津市久居野村町511番地1  
 【4】(1)神岩会(2)樋口龍馬(3)四日市市七軒町15番5号  
 【5】(1)てとて(2)山本賢治(3)南牟婁郡紀宝町井田2191番地の3  
 【6】(1)中日交流誌(2)劉 改雲(3)津市一身田豊野1406番地60(平成20年12月10日~平成21年1月9日申請分)

#### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- NPO大和(平成20年12月10日)  
 (平成20年12月10日~平成21年1月9日届出分)  
 ※関係書類は、三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室に備え置いてあります。

### みえ県民交流センターの指定管理者制度がスタートします

みえ市民活動ボランティアセンターが拠点を置く「みえ県民交流センター」は、平成13年4月に設置して以来、県が管理運営してきましたが、平成21年4月1日からは指定管理者による管理運営がスタートします。

このため4月1日からは、施設(ミーティングルームや交流スペース)や備品、貸ロッカーやメールボックス等の各種サービスの予約方法や料金に変更になります。

昨年12月に、みえNPOセンター・ワーカーズコープが指定管理者として指定され、4月1日からの運営にむけ協議が始まったところです。予約方法や料金が決まり次第、お知らせしていきます。

## イベントスケジュール

### 第3回「子育て応援!わくわくフェスタ」

- とき/1月31日(土) 11:00~16:00  
 2月1日(日) 10:00~15:00

●ところ/四日市ドーム(四日市市羽津甲5169  
 Tel.059-330-3131)

●参加費/入場無料

●内容/こども服と絵本をリユースし子育てに家庭にプレゼントする「子育て応援!もったいないプレゼント」(両日整理券配布)。はたらく車の展示・乗車体験など、企業・団体による様々なブース出展が130。プチ運動会、あそびNo.1コンテスト、子どもたちによる太鼓やダンスのパフォーマンス、キャラクターショーなどを行うステージイベント、先着で

お餅をプレゼントするお餅つきなど、遊びがいっぱい、笑顔がいっぱい、1日中遊べる楽しい企画が満載です!

●問い合わせ先/みえ次世代育成応援ネットワーク  
 Tel.059-224-2269 Fax.059-224-2270

.....



### ~出会い応援~「ミーツ・パーティー'09」

- とき/2月1日(日) 14:00~16:00  
 ●ところ/松阪市中心市街地(詳細は別途連絡)

●参加費/女性1500円 男性3000円  
 ●内容/大好評の「ミーツ・パーティー」は、三重県の委託事業として2年実施し、好評につき、自主事業として3年目を迎えます。異性との素敵な出会いを見つけてください。全員に当たるビンゴや地元スイーツなどで4000円相当の内容で楽しくお得ですよ。対象は20代~30代の未婚の男女です。

●申込方法/「ミーツ参加希望」の件名で、住所・氏名・Tel・職業・年齢・性別を下記まで。

●問い合わせ先/ミーツプロジェクト事務局(担当:米山)  
 Tel.0598-23-8400(不在の場合 090-3385-6958) E-mail yoneyama@ma.mctv.ne.jp

.....



### アストdeサロン「いのちとゆめ」

~資金ゼロから始めた女性起業家物語~

- とき/2月8日(日) 13:30~15:30  
 ●ところ/アスト津3階 県民交流センター交流スペース

●参加費/無料(要事前申込)  
 ●内容/講師は、県内で19番目のNPO法人である「シルバーサービス 憩いの汀」代表の西口和代さん。経営の話や家事・育児介護と仕事のワークバランスについてお話いただきます。施設で多くの高齢者を看てきた経験から出た「人はいつか死ぬけれど、死を考えることは今をどう生きるかを考えること」というゲストの言葉から、多くのことを学べるでしょう。また、起業を志す後輩への力強いメッセージもお伺いします。

●申込・問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター(担当:安村) Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net  
 ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

.....



### ネクストドア

松阪市が主催し、NPO法人が運営する連携事業「ネクストドア」では、様々な講座の受講生を募集中です。【ドア・15】「常識突破のファシリテーター講座~会議の達人が明かす、あなたの常識を超えた会議上達の裏技とコツ~」

- とき／2月22日(日) 13:00～17:00
- 参加費／3500円
- 内容／『もっとすごい!非常識な会議 ～会議を楽しくする黄金のコツ26～』で全国的に話題の「会議の達人・釘山健一」氏の講座が、三重県内初登場。通常1回の受講料が3万円の講座を、特別に半日バージョンで3,500円で受講いただけます。企業、市民活動団体、協働事業担当者など、会議を変えたい方にオススメです!

【ドア・16】「～仲間の輪を広げるインターネットの使い方～はじめてのSNS講習会」

- とき／2月10日(火)【A】13:30～15:00

【B】19:00～20:30

●内容／市内の参加者が7割のインターネットサイト「松阪ベルネット」の使い方を学びます。地域的话题を交換したり、仲間を増やしたり、ご自分の関心あることを情報発信したい方におすすめてです。【A】【B】いずれも同じ内容です。講師は松阪市役所・総合政策部政策課。

- 参加費／無料



- ところ／松阪市市民活動センター(松阪市日野町カリヨンプラザ3F)

●申込方法／件名を「〇〇講座受講希望」とし、郵便番号・住所・名前・Tel・Fax・E-mailを事務局まで。

●問い合わせ先／NPO法人Mブリッジ

Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803

E-mail info@m-bridge.jp

ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

## 三重ダルクフォーラム

平成20年度薬物フォーラム

- とき／2月11日(水・祝) 10:30～16:30
- ところ／三重県庁講堂(津市広明町13)
- 内容／三重ダルク開設から10年。この間に変化した点、制度の問題点、支援プロセスにおけるそれぞれの課題点を明らかにすることで、薬物依存症の当事者の立場、ダルクが対応できること、機関やそばにいる者はどのように支援するかをシンポジウムや体験発表などを通じて考えましょう。
- 応募締切／2月9日(月) 定員になり次第、締切。
- 申込方法／電話またはFax。
- 申込・問い合わせ先／三重県こころの健康センター 技術指導課(担当:安保・江場) Tel.059-223-5243 Fax.059-223-5242

## 発掘!「地域活力」vol.2

～文化と産業の融合による地域の活性化～

- とき／2月11日(水・祝) 14:00～17:30
- ところ／四日市商工会議所1Fホール(四日市市諏訪町2-5) ●参加費／1000円(定員100名)
- 内容／CSRとしての企業メセナによって開拓された、地域と文化、企業と文化のパートナーシップ。それは、地域の活性化やブランディングにとって、重要な力となり、全国各地でさまざまな成功例や先駆的事例が誕生しています。三重県下最大の工業都市「四日市」のケーススタディとして地域の可能性と未来を考察する今回のシンポジウムでは、文化と産業の融合を切り口に、四日市の新しい可能性を探ります。第1部はニッセイ基礎研究所の吉本光宏さんによるオープニングスピーチと、株式会社宮崎本店の宮崎由至さんの基調講演。第2部はプレゼンテーションとディスカッションを行います。
- 申込方法／1) 氏名、2) 所属・役職、3) E-mailを、郵送、

Fax、E-mailにて下記まで申込み。

- 主催・申込・問い合わせ先／510-0045 四日市市蔵町2-9 NPO法人アートNPOヒューマンシアター
- Tel.050-1141-5680 Fax.059-354-5680
- E-mail artnpo@ybb.ne.jp

## 第10回プチフォーラム【乳がんの最新の話】

- とき／2月11日(水・祝) 受付13:15～13:30～16:00
- ところ／三重県総合文化センター フレンテみえ
- 参加費／無料
- 内容／今回のテーマは、女性に多い「乳がん」です。乳がんとはどんな病気なのか、早期発見のための検診について、乳がんの最新の治療や再発の不安についてなど、最前線で検診・治療を行っている専門の先生にお話しいただきます。がんについての悩みや、再発の不安についてもおしゃべりしましょう。
- 募集人数／先着50人
- 申込・問い合わせ先／三重県がん相談支援センター
- Tel.059-253-3550 Fax.059-253-3551

## こころの相談してみませんか?

- とき／2月12・26日、3月12・26日(毎月第2・4木曜) 15:00～17:00
- ところ／三重県難病相談支援センター(津市桜橋 三重県津庁舎保健所棟1階)
- 内容／三重県難病相談支援センターでは、月に2回、カウンセラーの方に来ていただいて、「こころの相談」を実施しています。こころに悩みやストレスを抱えた方、まわりに相談できる人がいらっしやらない方、どなたでも気軽にお電話ください。
- 問い合わせ先／三重県難病相談支援センター
- Tel.059-223-5035 Fax.059-223-5064

## 連続ナイトセミナーin名張

認知症への新しいアプローチ

- とき／【第1回】2月13日(金)
- 【第2回】3月6日(金)
- 時間はいずれも18:30～20:30
- ところ／名張市武道交流館 いきいき
- 参加費／2日間4000円、1日のみ2500円
- 内容／【第1回】「認知症～生活の場の分類法とアプローチ」講師は三好春樹さん。【第2回】「認知症老人にこそ遊びりテーション」講師は上野文規さん。
- 問い合わせ先／デイサービスファボール鶴
- Tel.&Fax.0595-68-2303(水・日曜休)



## NPO法人会計報告(事業報告)のまとめ方説明会

- とき／2月14日(土) 10:00～16:00
- ところ／みえ県民交流センター イベント情報コーナー
- 内容／簿記の基礎知識から、伝票おこし(書き方)・会計報告書のまとめ方までをやさしく講義します。エクセルを使用するため、パソコンを持参していただくと効果的です。
- 申込方法／住所、氏名、電話番号をFAXかE-mailで下記まで。
- 申込・問い合わせ先／みえ市民活動ボランティアセンター Fax.059-222-5971
- E-mail seiknpo@pref.mie.jp
- 主催／NPOマネジメント・サポートセンター中部(NPO-MSC中部) Tel.&Fax.052-892-8525

## 川づくり会議みえ

「水辺の問題!どうしようかい?こうしたらどう?」

- とき/2月15日(日) 13:30~16:30
- ところ/アスト津4階 アストプラザ研修室A
- 内容/水辺の環境保全や、まちづくりの市民活動に取り組んで見える皆さんへ。何か行き詰まっていますか?川づくり会議みえでは、2つの団体に問題提起していただき、さらに連携や協働により活動内容を充実させていく方を、コーディネーターや助言者とともにみんなで考えるワークショップを開催します。皆さんが日頃の活動で感じている課題の解決のヒントが得られるかも知れません。皆さんのご参加をお待ちしております。
- 問い合わせ先/川づくり会議みえ(事務局:久世)  
Tel.(携帯)090-5637-0727  
E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

## コミュニティビジネス支援フォーラム

「社会的企業/コミュニティビジネスと一般の企業とは何が違うのか」

- とき/2月15日(日) 13:20~16:10
- ところ/四日市市総合会館 8F
- 参加費/無料 ●募集人数/150人程度
- 内容/人のネットワークによる温かなコミュニティビジネス支援体制づくり取組事例を紹介をする中で、社会的企業/コミュニティビジネスの理論と実践を紹介します。講演は立教大学/SSK専門研究員の藤井敦史さん。モデルケースとして呼夢フレンズの水ぎょうぎ支援と中心市街地活性化の取組支援を紹介。
- 主催・問い合わせ先/NPO法人市民社会研究所  
Tel.059-363-3539 Fax.059-355-2640  
E-mail ssk21ww@yahoo.co.jp

## 三重県内の学生ボランティア交流会

- とき/2月21日(土) 10:00受付 10:30~15:00
- ところ/三重県教育文化会館
- 参加費/500円(昼食込)
- 内容/三重県内でボランティア活動をしている学生によるサークルの活動発表のほか、ディスカッションなどを行います。昼食時にはお楽しみ企画も!
- 募集人数/30人 ●応募締切/2月10日(火)
- 申込方法/申込書をFaxか、同内容をE-mailにて送付。
- 申込・問い合わせ先/社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 総務企画部 ボランティア担当  
Tel.059-227-5145 Fax.059-227-6618  
E-mail mvc@miewel.or.jp  
ホームページ http://www.miewel.or.jp/

## 乳がん体験者の会あけぼの会三重支部主催

あけぼのサロンーあなたは一人ではありませんー

- とき/3月1日(日) 11:00~15:00
- ところ/アスト津3階みえ市民活動ボランティアセンターミーティングルームA・B
- 内容/乳がん体験者の方なら会員でなくてもどなたでも参加出来ます。「術後私は、このように、乗り越えた」「ハーセプチンの治療の後で」「ホスピス入院体験報告します。」「再発している方だけのコーナー」など、乳がん経験者の体験発表とおしゃべり会です。医療関係者のご協力参加もお待ちします。ご連絡ください。

●申込・問い合わせ先/あけぼの会三重支部(担当:小野節子) Tel.0596-25-3426、090-2944-4773

## 第5回デュアスロンin美杉

- とき/3月15日(日) 8:00受付  
開会式8:30 スタート9:00~ 雨天決行
- ところ/メイン会場:レークサイド君ヶ野(津市美杉町)
- 参加費/一般4500円、高校生3000円(保険、昼食、入浴込)
- 内容/ランニング6.3km~自転車39km~ランニング6.3kmのコースです。3月1日(日)にコースガイドを行います。集合場所及び時間は大会当日と同じです。なお、ボランティアも募集しています。
- 持ち物/ヘルメット、バイクスタンド。
- 募集人数/50人
- 応募締切/2月28日(土) 定員になり次第締切。
- 申込方法/申込書を郵送。参加料は郵便小為替または現金書留にて。事務局まで持参も可能。
- 申込・問い合わせ先/514-0004 津市栄町3-277 YADA CYCLE内 デュアスロンin美杉実行委員会  
Tel.059-226-2525  
E-mail yada\_cycle@ybb.ne.jp ホームページ  
http://www.geocities.jp/yada\_cycle/



## ネットワークのよびかけ

### 中間支援組織担当者ネットワーク交流会

- ~顔の見えるつながりを作りませんか?~
- 中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。
- 【協働勉強会】●とき/2月9日(月) 13:30~16:30
- 【交流会】●とき/3月25日(水) 10:00~12:00
- 問い合わせ先/W.T.Aまちづくりセンター  
Tel.0595-24-7612

## Flower\*メンバー募集

- Flower\*は、障がい者と健常者が「ボランティア」ではなく、「友だち」として対等な関係を作ろうと活動しています。障がいについてまじめに議論することもあります。グループの中で自然にお互いの理解が深まっていけばいいなど考えています。基本的に楽しくワイワイ活動していますので、気軽に遊びに来てください。
- 定期的な集まり/月2回程度(土日に三重病院、平日にアスト津にて各1回ずつ)
- 活動内容/ディスカッション、音楽活動、旅行など。
- 問い合わせ先/中島 E-mail bigring@mctv.ne.jp

## NPO法人専用ローン

三重県の認証を受けているNPO法人を対象に、運転資金または助成金等のつなぎ資金として、原則無担保で最大1,000万円までご利用いただけます。  
※当行所定の審査をさせていただきます。

詳しくは、  
当行本支店窓口へ



キラリと光るあなたの銀行  
**第三銀行**

# 助成金 ニュース

## 三重家族会 薬物依存者家族の集い

シンナー、ガス、覚醒剤、処方薬などの依存症者をもつ家族や友人、周りの人たちの集まりです。他人に話せず一人で苦しんでいる方、一度参加してみませんか？家族の回復の道が見つかります。警察は関係ありません。お互いに立場は同じです。

- とき／毎月第2土曜 10:30～12:00
- ところ／津市羽所町700 アスト津3階ミーティングルーム
- 問い合わせ先／池田 Tel.090-8737-6223  
土田 Tel.090-2189-6174

## ペットボトルのキャップを集めて ワクチンを届けよう

この活動は、「地球環境の改善」、「世界の子どもたちにワクチンを贈る」の2つをテーマにした「エコキャップ運動」という活動です。活動の仕組みは、「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」というNPO法人がペットボトルキャップを集め、リサイクル業者へ売却し、売却益で発展途上国の子ども達にワクチンを届けたり、安全にワクチンを届けるための冷蔵輸送のシステムを支援するというものです。津市ではジャスコ津南店が、店舗入り口に回収箱を設置されているので、津市社会福祉協議会として、ペットボトルキャップの回収をよびかけ、一括してジャスコ津南店さんに届けるという仕組みを作りました。ジャスコさん(イオングループさん)では、集まったキャップの送料を負担し「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」などの発展途上国支援団体に送り届けます。この活動は、だれでも気軽に始められ、福祉と環境保全という二つの側面を支援し理解する糸口になる効果的な活動だと思います。みなさんも一緒に「思いの輪」を広げていきませんか？



- 問い合わせ先／津市社会福祉協議会(津市ボランティアセンター) Tel.059-213-7111

## 三重県がん相談支援センターサポーター募集

がん患者さんやご家族の方の支援活動を一緒に行っていただける方をお待ちしています。がんを体験された方、またご家族の方、あなたの体験を今、悩んでみえる方に伝えてください。毎月第2木曜日の午後、「がん患者と家族の方のおしゃべりサロン」を開いています。お部屋の準備や受付などのお手伝いをお願いします。

- 申込・問い合わせ先／津市桜橋3丁目446-34 三重県津庁舎保険所棟1階 三重県がん相談支援センター  
Tel.059-253-3550 Fax.059-253-3551  
ホームページ <http://www.gansupport-mie.jp>

## 第8回井植記念「アジア太平洋文化賞」

- 受付締切／2月28日(土)消印有効
- 助成の対象／アジア太平洋地域における文化的・社会的な実践活動を通じて、国際交流や地域発展に顕著な貢献をした個人または団体。国籍や所在地は問いません。
- 受賞者数と賞／受賞者数は1名または1団体。正賞および副賞500万円。
- 応募方法／推薦書はホームページからダウンロード可。
- 問い合わせ先／「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」事務局  
651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5階(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構内 Tel.078-262-5713  
Fax.078-262-5122 E-mail [gakujutsu@dri.ne.jp](mailto:gakujutsu@dri.ne.jp)  
ホームページ <http://www.hemri21.jp/awaji-conf/>

## (社)全日本冠婚葬祭互助協会 第10回社会貢献基金

- 受付締切／2月28日(土)必着
- 助成の対象となる団体／非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象となります。)又は大学、研究機関(個人も可)。(個人資格による申請については、研究助成分野以外は対象外)
- 助成の対象となる活動／(1)研究助成事業…テーマ「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」。
- (2)高齢者福祉事業…心身の機能が低下した高齢者などを対象に、一般的な在宅福祉対策で対応困難な分野や従来の施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニーズの高さ等地域の実情に照らし必要と認められる高齢者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。
- (3)障害者福祉事業…重複障害、難病に起因する障害を持った障害児・者を対象に、一般的な在宅福祉対策では対応困難な分野や従来の諸施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニーズの高さ等地域の実情に照らし必要と認められる障害児・者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。
- (4)児童福祉事業…保護者等が死亡又は著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の児童、引きこもり、不登校の児童を対象とした支援・慰問活動、その他児童の健全育成等に関するボランティア活動。
- (5)環境・文化財保全事業…日本国内における植林、野生生物保護、公害防止等の活動、地域の住民の参加を経て行う文化財保護活動、リサイクル活動その他地域住民にとって重要な意義を有する実践活動。
- (6)国際協力・交流事業…開発途上地域、紛争地、被災地における、医療活動、食料・物資援助、教材・学校建設など人材育成を目的とした国際協力・支援活動。国際交流を目的とする事業(懇親会・パーティー等は対象外)
- 助成の額／総額およそ1000万円。1件当たりの助成額上限は200万円。但し、研究助成事業においては、上限100万円。
- 応募方法／募集要項はホームページにて閲覧可。申請用紙をダウンロードして作成のこと。応募書類の提出は郵送にて。
- 問い合わせ先／(社)全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局 105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7階  
Tel.03-3433-4415 Fax.03-3435-0880  
ホームページ <http://www.zengokyo.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

### みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで  
URL: <http://www.miebank.co.jp>

三重銀行

株式会社等の各種法人設立から許認可手続まで

## NPO・社団法人設立手続

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

# 0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)  
三重県津市本町14-18 URL [www.e-houmu.info](http://www.e-houmu.info)

## 今月特集 社会の動向を読む：政府予算案とNPOとの関係 「地方の雇用創出」がNPOに何をもたらすか？

### 政府予算案とNPOとの関係

2月ともなると、政府や自治体の最終補正予算案や次年度予算案の議会での審議が行われます。議会で予算が成立する前とはいえ、行政の主な施策や重要課題として取り上げている事業や予算を早めにチェックしておくことで、社会の動向を探り、自団体の新年度の事業計画に反映したり、中・長期を見越した戦略的な事業計画の参考にもなりますから、注目しているNPOも多いことでしょう。

### 2009年は「地方の雇用創出」に注目！

昨年12月にとりまとめられた政府予算案では、平成20年度第2次補正予算案に雇用創出基金と21年度当初予算案の地方交付税増額（うち地域雇用創出推進事業5000億円）が盛り込まれ、1月に開かれた経済財政諮問会議でも雇用創出のモデル事業を検討するよ

う、各省庁に指示が出たということです。今後、NPOも雇用創出の受け皿として名乗りをあげるチャンスかもしれません。

その他、21年度政府予算案

(<http://www.mof.go.jp/seifuan21/yosan.htm>)には、「出産・子育て支援」「地域の活性化支援」等のキーワードも見受けられます。各省庁や自治体のHPの他、「三重のふるさとづくりガイドブック」

(<http://www.pref.mie.jp/CHIKI/HP/furusato/>)でも、国・県の補助制度等について、テーマ毎に分類し、それぞれの目的・採択要件・助成内容・担当室等概要をまとめ、検索できるシステムとなっているので、新規事業や既存事業のステップアップを検討しているNPOは、スタートの基盤整備に活かせる助成や補助がないか、自治体や政府の予算案をチェックしてみたいかがでしょう。

問い合わせ先：三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室NPOグループ <http://www1.mienpo.net/npot/>  
〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971 E-Mail [seiknpo@pref.mie.jp](mailto:seiknpo@pref.mie.jp)

## 中間「企業&NPO協働アイデアコンテスト」 支援奨励賞受賞！

去る12月17日に、名古屋市において「第3回企業&NPO協働アイデアコンテスト」の公開選考会が行われ、NPO法人みえきた市民活動センターの『メンバーズプロジェクト-大企業が、地域の一員として、地域の課題を解決する-』が奨励賞を受賞しました。

このコンテストは中部5県のNPO団体から、企業とNPOの新規の協働事業アイデアを募集するというもので、財団法人中部産業活性化センター

(<http://www.ciac.or.jp/>)とNPO法人パートナーシップ・サポートセンター (<http://www.psc.or.jp/>)が協働で開催しています。

提案の内容は、三重県にも拠点をおいて活動している企業が、地域の一員として社会的責任を果たすため、NPOと交流しながら、一緒に企画提案をして地域の課題解決に取り組んでいくことをめざしたもので、地域で実際に課題解決に取り組んでいるNPOの一覧と、「地域リスク」の一覧を基に、地域のNPOから企業にアドバイスを提供する「協働のしくみ」を提案したものです。

ISO26000設定の動きを含め、企業のSRも次のステップへと移行する時期にあたり、地域に根付いた中間支援組織には、企業とNPOとの協働のパイプ役となることが期待され、一つのモデルを提示できたかと思えます。

問い合わせ：みえきた市民活動センター

〒511-0088 三重県桑名市南魚町86  
TEL 0594-27-2700 FAX 0594-27-2733  
E-mail [miekita@mie-kita.gr.jp](mailto:miekita@mie-kita.gr.jp)  
URL <http://www.mie-kita.gr.jp/>

## 隔月 コラム NPOグループ認証担当の NPO法人知っ得情報

### NPO法の改正について

昨年12月1日にNPO法が一部改正されました。ポイントの一つに、社員総会の表決権に関する規定の改正があります。

これまで、社員総会に直接出席できない会員の表決権は『書面表決』か『代理人への表決委任』しか認められていませんでしたが、今回の法改正により、それに加えて電子メールやインターネット等による表決もできるようになりました。

注意点としては、この規定は定款に記載していないと効力を生じません。(導入する場合には定款変更の手続きが必要です)

また、メールやインターネットは書面に比べ手軽ですが、なりすましの表決・情報の漏洩などが行われないようにセキュリティ面にも配慮する必要があります。

会員が遠隔地や海外に在住している法人などにとって、事務手続きの軽減が図ることができるなど、メリットの多い法改正ですので導入を検討してみたいかがでしょうか。



担当の富山です！

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。NPO法人呼夢・フレンズの堀川まり子さんが紹介してくださったのは、鈴鹿市在住の福本悦子さん。お友だちと一緒に「21世紀の子育てを考える会・鈴鹿」を設立し、様々な子育て支援を行っています。

**アメリカ留学で知った、アイヌのこと。**

……最初に市民活動を意識したのは？

高校まで鈴鹿市で過ごした後、アメリカに留学したのですが、その時にアイヌの人々の問題を知ったことが市民活動を始めるきっかけでした。私がアメリカに滞在していた1992年は、コロンブスがアメリカにたどり着いて500年という年で、全米あちこちで記念イベントが行われていました。そんななか、街角でネイティブアメリカンの人々がコロンブスの人形を焼き捨てているのを見かけて。最初はその意味がまったくわかりませんでした。たまたま大学の夏期特別講習でネイティブアメリカンの講義があり、私たちにとっては歴史上の偉人であるコロンブスも、ネイティブアメリカンから見れば侵略者だと気づきました。また同時に、アイヌの問題も知るようになりました。日本を離れるまで、日本の先住民のことを知らなかったのはショックで、これは調べたり、話を聞くよりも行った方がいいなと思って、留学後すぐに北海道に住んでしまいました。

……北海道には何年？

1年です。札幌にある札幌国際日本語学院という日本語教師を養成する専門学校に通いながら、アイヌ語を勉強しました。当時、アイヌ語を話せる人がどんどん減ってしまい、最後の一人が2006年に亡くなった元参議院議員の萱野茂さんだと知り、直接教えていただくと思ったのです。札幌でも週1回、アイヌ語教室に通い、そこのメンバーと一緒に月1回、遠距離バスで萱野さんの住む二風谷(にぶたに)の教室まで通いました。それと同時にアイヌの人たちの所有権を制限したり、共有財産を知事が管理したりという条項がある旧土人保護法をアイヌ文化の振興ならびに伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律「アイヌ新法」に変えていこうというNGO活動に参加しました。

……市民活動のノウハウはそこで学ばれたのですか？

書類の書き方や事務的なことはまったくわからず、運動員としてデモなどに参加しているだけでした。ただ、核になる人たちの力やエネルギーは肌で感じました。

特定非営利活動法人  
21世紀の子育てを考える会・鈴鹿



理事長

**福本悦子** さんに

聞く

……アイヌ新法が成立したのは？

私が北海道から戻った後、萱野さんが参議院議員になられて、1997年にアイヌ新法になりました。萱野さんが議員になった力も大きいですが、みんなの活動が法律を変えたというのはすごいことだと思いました。

……北海道から、鈴鹿に戻ったのですか？

京都の大学に進学したのですが、事故で腰の骨を折って車椅子生活になり、鈴鹿に戻ってきました。その状態では仕事もできないし、社会との関係が絶たれてしまうと思い、自分にできることはないかと周りを見たらブラジルから来た人がたくさんいることに気付きました。専門学校にも通いましたし、留学中もティーチングアシスタントという大学の制度で、週1回日本語会話のレッスンを担当していました。その経験があったので鈴鹿市国際交流協会に聞いてみたら、ちょうど日本語教室を立ち上げようという時期で、メンバーを募集しているけれど、経験やノウハウがある人がいないということでしたので、参加しました。子どもを産むまで6~7年活動して、途中から代表をさせていただきました。

……それにしても行動的ですね。その力の源は？

若い頃はむちゃくちゃでしたね(笑)。私は「男の子に生まれた方が良かった」と言われるくらい活発で、昔から不平等や機会の平等を妨げられるとカチンと来るタイプ。小学校の時も生徒会長に立候補しようと思って、担任の先生に話したら「女子が生徒会長になったことはない。副会長にしておきなさい」と言われて、「それは許せん!」と立候補。その小学校で初めての女子生徒会長になりました(笑)。

おやちから

**親力向上宣言!**

……現在の活動は？

自分も含めて子育て真っ最中のお母さんたちで、「21世紀の子育てを考える会・鈴鹿」を6年前に作りました。

……設立のきっかけは？

鈴鹿市が子育て支援センターを建てるにあたって、計画の最終段階で子育て支援サークルの意見を聞く場を設けたのです。私は子育てサークルには参加していなかったのですが、別の所から話を聞いて、参加させてもらいました。ところが、その計画を見てみたら授乳室も男性トイレもなく、「あらら…」と。

……女性だけが使うとでも考えたのでしょうか？

男性職員の方には「お父さんがくるの?」と意外そうに言われました。これだけ、男女共同参画が叫ばれているのに…という感じですね。他の参加者は何も言わず聞いているし、このままでは母親の思いがこもった子育て支援センターはできないと思い、グループを立ち上げることにしたのです。私は鈴鹿生まれの鈴鹿育ちですから、同級生やママ友に声をかけて、法人設立に必要な10人を半ば強引に誘いました(笑)。それが12月で、すぐに手続きを取り、翌年6月に法人化しました。

……子育て支援センター対しての働きかけは？

その時点での計画をお母さんたちにお話して、アンケートを実施し、改善点などを出してもらいました。この時は気

合いが入っていたので2週間ほどで297人分のアンケートを集めました。授乳室や男性トイレの件、その他、絵本を置いて欲しいなど様々な意見を集計して市役所に提出した結果、全て改善してもらいました。

## 昔から不平等や機会の平等を妨げられるとカチンと来るタイプ。

……素晴らしい結果ですね。それ以降、市役所の考え方は変わりましたか？

時代の流れもあります。平成18年度から鈴鹿市では市民と共に作った総合計画がスタートしました。この辺りから、トップダウン的に全てが決まってしまうのではなく、作り上げていく所から市民と一緒にやっというスタンスに変わってきました。

……「21世紀の子育てを考える会 鈴鹿」の活動内容を教えてください。

コンセプトは3つの柱でやっています。一つは「繋ぐ」。地域のネットワーク、コミュニケーションを大事にしようということです。二つ目は「育む」。バリアフリーな人に優しい町づくり。そのために親も勉強しようということ。最後が「創る」。魅力的な子育て支援の町を創るために、お母さんたちの意見を行政に届けます。具体的な活動としては、月1回開催の子育てサロンを設立当初から行い、幼稚園入園前のお母さんを集めて、遊びながら情報交換などを行っています。大きな企画としては2005年から毎年夏に、子育て講演会「Enjoy子育て鈴鹿」を行っています。これは鈴鹿市の男女共同参画市民企画支援事業から補助金をいただいています。また、国連が定めた世界子どもの日である11月20日に合わせて、「子育て交流広場in鈴鹿」を設立年から毎年11月に開催しています。ショッピングセンターのロビーを借りて、子育て情報やユニセフなどの情報コーナーを設けたり、助産師さんによる沐浴指導や栄養士さんによる栄養相談、子どもが楽しめる工作などを行っています。

……先住民族の活動や日本語教室などの経験は今の活動にいかされていますか？

子育てって、まちづくりや環境問題など様々な分野と関係してきますから、立ち上げる時から幅広い分野と繋げることができるような、子育て支援団体の中の中間支援団体になりたいと思っていました。

……例えばどんな繋がりがありますか？

仕事はリタイアしたけれど、まだまだ元気な方たちが今はたくさんいらっしゃいますよね。そんな方たちと交流を持つことで、ビジネス的な経営のノウハウを教えてくださいと考えています。私たちの活動の中には商品化できるもの

「子育て交流広場in鈴鹿」。ショッピングセンターのロビーで子どもたちと工作やゲームで遊んだりもします。



もあると思いますし、現状ではイベントなどを開催しても人件費や交通費を出すことができません。事業としてお金を儲けるつもりはありませんが、活動を続けていくためには経営感覚も必要でしょう。

……商品化できる活動とは？

子どものための学習塾は盛況ですけど、親の塾ってないですよ。でも、お母さんたちには「子育てを勉強したい」という気持ちやニーズがあって、都会なら、有名な先生が講座を開くと受講料5000円でも人が集まります。講義の質が良くて、金額が1000円前後くらいなら、私たちの世代は集まりますよ。

……どんな講義がありますか？

私がやりたいのはNPプログラムという親教育プログラムです。NPというのはノーバディー・パーフェクト。完璧な親なんかいないという意味です。これはカナダで実施されているプログラムなのですが、子どもの体や精神の発達、夫婦の関係性、児童手当など制度的な学習など、親にとって必要なことがトータルに学べるものです。日本でも東京や大阪、静岡などでは講座が行われています。日本では、親になるための勉強なんてしないでしょ？子どもの発達についても知らないお母さんはたくさんいて、この時期はイヤイヤ言う時なんだと知らずに、イライラするみたいなの(笑)。このプログラムを日本でも普及させたいです。

……そのために学習を？

プログラムを実施するにはファシリテーターという促進者が必要なのですが、この資格の取得をメンバーで目指しています。本来は3泊4日の講座を受けないといけないのですが、それは難しいので今は東京で行われている単発の基礎講座に通って、トータル的に学ぼうと思っています。

……斬新な企画ですね。

以前、助成金のプレゼンテーションの時に怒られたことがありますよ(笑)。親教育を説明したら「これだけ子育て支援をしているのに、託児付で、親になるために勉強するなんて!」って、男性審査員に憤慨されました。今年の夏の講演会のタイトルは「親力(おやぢから)向上宣言」。今は、「親学(おやがく)」ということもいろいろな所で言われていますし、広く浸透させるために地道にやっています。

特定非営利活動法人 21世紀の子育てを考える会 鈴鹿  
Tel.090-1415-3749

E-mail kosodate21suzuka@hotmail.com

ホームページ <http://www.munieru.com/swimmy/>

福本悦子さんはこの人を紹介します。

隈元正美さん

人財ポケットよっかいちの事務局です。



夏には子育て講演会「Enjoy子育て鈴鹿」を行っています。

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行  
**第三銀行**

**三重銀行**

**百五銀行**  
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献  
**東海ろうきん**

**JAバンク**  
三重県下JA/JA三重県連

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
転載を希望される場合は必ず男女共同参画・NPO室に連絡してください。

R70 PRINTED WITH SOY INK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。